



交通安全総ぐるみ大会

紙芝居や提言発表で交通安全への意識高める

第14回交通安全村民総ぐるみ大会は1月30日、公民館を会場に関係者100人あまりが集って行われました。

飯館中吹奏楽部による合奏で始まった今回の大会では、交通安全母の会による交通安全紙芝居や中学生の提言発表がされました。

最後に、菊池恵子村交通安全母の会長から大会宣言が読み上げられ、満場一致で採択、今年1年の事故ゼロへ誓いを新たにしました。



▲交通安全母の会による紙芝居

交通安全に対する提言

交通事故は人の命が一瞬で奪われてしまうとても恐ろしいことです。



星 里織さん (飯樋町)

「命の大切さ、みんなの安全を考えて」

交通事故は人の命が一瞬で奪われてしまうとても恐ろしいことです。また、村ではスピードを出して走っている車をよく見かけます。そういう人ほど命の大切さ、みんなの安全を考えて欲しいと思います。

小さな子供、お年寄りには特に気を付けて、また大型車に乗るときは、小さな子供が周りにいないかどうか、お年寄りにはクラクションが聞こえない時もあるのだから、気を付けてあげてください。様々なことに一人ひとりが気を付けて、事故を無くしていきましょう。

私は飯樋町に引っ越した後、交通量の多さや道路状況の変化により、「交通事故」について身近に考えるようになり、今まで、何気なく道路を横断したり、自転車で車道の真中を走ったりしていたことを振り返り、危険



佐藤 愛さん (飯樋町)

「交通事故は身近に。一人ひとりの心がけを」

なことをしていたと反省しました。中学校の前に信号機が設置され、横断歩道を安心して渡れるようになりました。そのことで、信号機の大切さも改めて感じました。

交通事故という言葉は実は私たちのとても身近にあるものだと思います。交通安全は一人ひとりが意識し、注意しなければなりません。私自身、これからも交通安全を心がけて行きます。

私が小6の時、友達と横断中に車が急にぶつかって来た事故があり、今でも脳裏に焼き付いています。そんな恐ろしい交通事故をなくすることはできないのでしょうか。

「10分早めの出発」という記事を見つけました。歩行者もドライバーも時間にゆとりをもって行動することが、交通事故を減らすために大切だと思います。

昨年春、中学校の前に信号機がつけました。おかげで今は交通の流れがスムーズです。これからも安全な道路であって欲しいです。交通事故はいつ起きるかわかりません。万が一を考えると、チャイルドシートの使用シートベルト、ヘルメットの着用は必ず守りましょう。



佐藤 千枝さん (松塚)

「10分早めの出発」で交通事故を減らそう